

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	ソーシャルビジネス情報発信事業業務委託	
事業の実施者	団体等	株式会社イータウン
	行政	横浜市経済局 経営創業支援課
事業の目的	WEB サイトを活用し、ソーシャルビジネス（SB）の理解促進や起業支援、既存事業者が抱える問題の解決に繋がる情報等、様々な情報を幅広く発信することで、横浜市における SB に対する意識の底上げを図り、SB での起業がしやすい風土づくりを推進する。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB サイトの管理・運営・アクセシビリティ確保 ・事業の目的に沿ったソーシャルビジネス情報の収集 ・ソーシャルビジネス情報の効果的な発信 	
役割及び責任分担等	<p>横浜市 関係機関等の情報提供者と調整、取材候補者の紹介、アクセシビリティ改修の実施段階毎の状況確認。ニュース・イベント情報提供。</p> <p>株式会社イータウン ソーシャルポートヨコハマのホームページ管理運営。記事取材編集。メルマガ原稿作成配信、twitter 発信。お問い合わせ対応。アクセシビリティ対策の改修・実装。</p>	
実施期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで	

記入日	平成 29 年 6 月 17 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 株式会社イータウン ・記入責任者 氏名： 野崎智也 連絡先： 045-520-8550
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 経済局経営・創業支援課 ・記入責任者 氏名： 菓子 千尋 連絡先： 045-671-3492

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	B	B
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	B	B
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	B	B
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	B
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	B	B
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	B	B
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	B	B

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 今年度はホームページでアクセシビリティ対策の大きな改修作業があり、システム変更の段取りでは順を追って進めていき、特集インタビューの掲載時期も含めて協力体制の中で計画づくりすることができた。
【今後改善が必要と思われること】 設計図に沿って作業を進めていくことになるため、受託した団体は複数年度に渡る計画づくりに参加できない点は今後改善が必要だと思われることにあげられる。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ホームページに掲載するイベント・セミナー情報やニュースについて、横浜市の掲載依頼を受けたものもあり、情報入手先についてもお互いに共有することができた。
【今後改善が必要と思われること】 横浜市の全てのSB情報掲載、情報入手は難しく、ホームページ管理運営と同時進行で情報入手先の関係づくりが重要である点。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
情報発信する内容について、年度初めに方向性を確認し、必要に応じて電話やメール等により情報交換し、レポートでは読者の興味を引くテーマとなるよう取材先を選定することができた。アクセシビリティ対策については計画どおりに上半期のうちに作業を終えることができ、協働して事業を実施した成果のひとつとなった。
自由記入欄